

研修カリキュラム

研修分野	保護者支援・子育て支援	提案者名	株式会社保育のデザイン研究所			
ねらい	・保護者支援・子育て支援に関する理解を深め、適切な支援を行うことができる力を養い、他の保育士等に保護者支援・子育て支援に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。					
研修区分	具体的な研修内容	国のガイドライン における該当内容	研修時間 研修テーマ 全体の時間数	講師	研修形態	使用教材
保護者支援・子育て支援の 意義	現代の子育てをめぐる課題を多くのデータを踏まえて解説し、保育者が行う子育て支援が子どもの発達のために重要な役割を果たしているということを知りやすく解説している。子育て支援はなぜ必要か、何のために行うのか、基本となる考えを学ぶ。	・保護者に対する子育て支援の機能と役割 ・保護者に対する子育て支援と「子どもの最善の利益」 ・子育て支援の基本 ・園の特性・保育の専門性を活用した子育て支援	2時04分14秒	現職名 氏名 十文字学園女子大学 准教授 亀崎 美沙子	講義、演習 (eラーニング)+報告書	講師作成オリジナル教材 (別添)
保護者に対する相談援助1	保護者との関わりについて保育所保育指針に書かれていることを基に考えている。ワークでは指針や解説書を自園の状況と重ねながら考えていくことができる。	・保育施設における保護者支援の原則 ・大人の生活変化→子どもの生活変化 ・子育ての変化→何を支援するのか ・乳児保育と子育て支援 ・保護者支援の原則	2時28分27秒	現職名 氏名 大阪総合保育大学 教授 大方 美香	講義、演習 (eラーニング)+報告書	講師作成オリジナル教材
保護者に対する相談援助2	子育て支援は日々の保育そのものであることがわかり、保育の場でできることや、工夫できるヒントを見つけることができる。また、保護者の相談についての具体的な手法も学ぶ。	・保護者に対する相談援助の原則 ・保護者に対する相談援助のプロセス1 ・保護者に対する相談援助のプロセス2 ・つながりを育む支援の実例 -グループの力を使って- ・共に育つ子育て支援とは	2時08分46秒	現職名 氏名 お茶の水女子大学 アカデミックアシスタント 田尻 さやか	講義、演習 (eラーニング)+報告書	講師作成オリジナル教材
保護者に対する相談援助3	「保護者とどのように話すか」、「どう伝えるか」と、多くの保育者が悩んでいる。事例からコミュニケーションのポイントを学び、ワークを通して、保護者の心持ちを多様な視点で捉えられるよう学んでいく	・保護者へのまなざしとコミュニケーションのポイント【解説編】 ・保護者へのまなざしとコミュニケーションのポイント【ワーク編】	1時17分04秒	現職名 氏名 株式会社保育のデザイン研究所 研究員 高城 恵子	講義、演習 (eラーニング)+報告書	講師作成オリジナル教材
地域における子育て支援の 実際	保育所等には、地域の子育て支援の拠点としての役割があるが、積極的にその役割を担っているところはまだまだ少ない。たくさんのワークを通して、自分たちの園の周辺の状況や、子育て中の家族の思い等を知り、「自分たちにできること」を考える。	・地域の子育てに関する社会資源 ・地域の子育て家庭に対する支援 ・地域の保護者に対する相談	2時10分51秒	現職名 氏名 特定非営利活動法人 せたがや子育てネット 代表理事 松田 妙子	講義、演習 (eラーニング)+報告書	講師作成オリジナル教材
児童虐待	朝夕、保護者と顔を合わせる機会がある保育施設は、子どもの虐待の早期発見が可能で、早期支援が期待されている。発見・通告・対応の体制を理解し、保育施設の特性を生かした保護者支援を行っていくことの大切さを学ぶ。	・児童虐待の基礎的理解 ・児童虐待の実態 ・児童虐待の発見・通告・対応 ・虐待を受けた(含疑い)児童と保護者への支援	2時01分27秒	現職名 氏名 淑徳大学短期大学部 教授 佐藤 まゆみ	講義、演習 (eラーニング)+報告書	講師作成オリジナル教材
関係機関との連携・地域 資源の活用	様々な親子の実態がある中で、園が親子と社会をつなぐ役割を担い、様々な地域資源とつながって、包括的にサポートしていくための、たくさんのヒントが得られる。	・保育所に求められる関係機関等との連携・協働 ・連携を必要とする社会資源・地域資源、専門職等 ・地域資源を活用した個別配慮の必要性	2時49分57秒	現職名 氏名 和洋女子大学 教授 矢萩 恭子	講義、演習 (eラーニング)+報告書	講師作成オリジナル教材
			15時00分46秒			